

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 自治体情報セキュリティクラウド運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総務部 情報システム課 地域情報化係 電話番号：058-272-1111(内 2278)

E-mail：c11120@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 191,922 千円 (前年度予算額：74,096 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	74,096	0	0	0	0	0	54,738	0	19,358
要求額	191,922	0	0	0	0	0	126,277	0	65,645
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 平成 27 年 11 月に総務省が示した「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」の抜本的強化策を受けて、平成 28 年度に第 1 期の「岐阜県情報セキュリティクラウド」を構築した。
- 令和 3 年度末の第 1 期の運用が終了するため、令和 3 年度内に第 2 期「岐阜県情報セキュリティクラウド」を構築した。
- 令和 4 年度からは、引き続き県と各市町村の情報セキュリティを強固なものにするため、第 2 期の運用管理及び障害時の保守対応を行う。

(2) 事業内容

「岐阜県情報セキュリティクラウド」の運用保守業務 (第 2 期) のために必要な業務 (インターネット通信・公開 Web 通信・メール通信に関するセキュリティ対策等) を実施する。

全市町村と県のインターネット接続口を一つに集約することで、セキュリティ監視や通信ログ分析、サイバー攻撃の検知など、高度なセキュリティ対策を一元的に行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

セキュリティクラウドの構築・運用保守業務委託に係る必要経費は、県及び市町村が均等割1割、職員数割9割で按分し負担する。

オプションとなるメール無害化ファイル無害化機能は導入団体のメールアドレス比率で按分し負担する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	市町村研修講師謝金
旅費	802	国等連絡調整会議、各地域検討会議・意見交換会、市町村研修講師旅費
需用費	492	電子複写料等
役務費	52	通信・運搬費
委託料	144,898	セキュリティクラウド運用管理・保守業務委託料:135,093 インシデント対応調査分析委託:9,805 (市町村負担額:92,079(保守業務)、7,340(インシデント対応))
使用料及び賃借料	45,511	会場使用料:52 セキュリティクラウド運用管理・使用料及び賃借料:45,459 (市町村負担額:34,198)
負担金	135	外部研修受講負担金
合計	191,922	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

債務負担行為限度額:962,867千円(R4~R8)

セキュリティクラウド運用管理・保守業務:911,768千円(R4~R8)

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内市町村のセキュリティ水準を一定以上に確保するため、都道府県と市町村が協力して、高度なセキュリティ対策を実施する「自治体情報セキュリティクラウド」を導入し、県内市町村の情報セキュリティを維持する。引き続き、都道府県が主体となり調達・運営し、市区町村のセキュリティ対策を支援するよう要請されている。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

市町村を含めたセキュリティインシデント、情報漏えいを防止する目的で総合的に実施するものであるが、システムでは防げない人為的操作によるセキュリティインシデントもあるため、適切な指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和6年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>昨今の情報セキュリティに対する脅威や背景に照らすと、セキュリティ水準の底上げが必要とされており、これは全国的な要請事項である。</p> <p>マイナンバーを利用した情報連携が行われていることから、県民の情報を守るという観点、インターネット接続口を集約することから安定稼働の必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
<p>(評価)</p>	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
<p>(評価)</p>	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>市町村ではクラウドサービスの利用が検討されているため、セキュリティクラウド経由でも安定してサービスが利用出来ることが求められている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>市町村と定期的に協議を行い、運用の具体的内容、サービスやセキュリティ強化について継続的な改善を行っていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	